

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年11月18日（火）

2 確認箇所

使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）（図1）

3 確認項目

使用済セシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）の状況

4 確認結果の概要

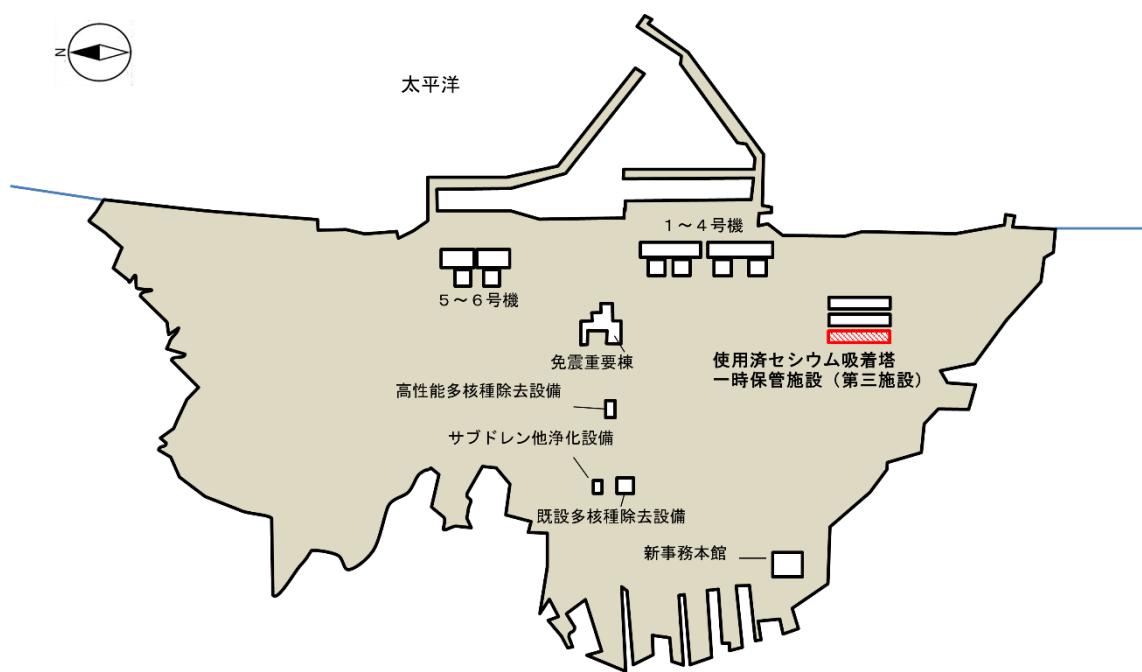
多核種除去設備（ALPS）の汚染水処理により発生する汚泥（スラリー）及び吸着材等の廃棄物は、ポリエチレン製の高性能容器（以下「HIC」という。）に収納され、構内に設置された一時保管施設で放射線を遮へいするコンクリート製の保管庫（ボックスカルバート）に格納され、一時保管されている。HICの一時保管施設であるセシウム吸着塔一時保管施設（第三施設）（以下「第三施設」という。）は、令和7年3月に南側の増設工事が完了した。これにより、現在、4, 768基のHICを保管することが可能となっている。

東京電力ではHICの保管容量の不足に備え、第三施設北側エリアに一時保管施設を新たに増設し、既設及び増設分を合わせ、5, 344基のHICを保管可能とする計画があることから、本日は、第三施設の状況について確認した。（前回確認：令和7年10月14日）

- ・現場確認時には、北側エリア増設に向けた工事は行われていなかったが、大型クレーン用のレールを延伸するための掘削やHICを吊り上げる際のシャフトの改造作業及びアスファルトを削る作業等が進められていた。

（写真1）

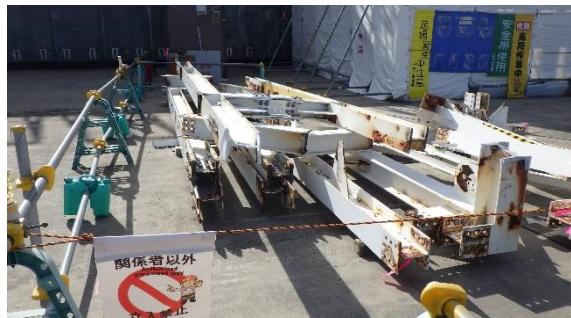
- ・工事エリアには重機が仮置きされており、確認した範囲において、重機からの油漏れ等の異常は認められなかった。（写真2）
- ・工事エリアは単管パイプで区分けされており、みだりに工事エリアに立ち入ることができないよう措置が講じられていた。（写真3）
- ・確認した範囲において、ボックスカルバートからの内容物漏えい等の異常は認められなかった。（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1－1) 北側エリア増設に向けた工事の状況①



(写真1－2) 北側エリア増設に向けた工事の状況②



(写真1－3) 北側エリア増設に向けた工事の状況③



(写真2－1) 重機の仮置き状況①



(写真2－2) 重機の仮置き状況②



(写真3) 工事エリアの区分けの状況



(写真4) ボックスカルバートによる
保管状況

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。